



ひと2012

遺品整理士認定協会の初代理事長

木村 栄治さん
きむら えいじ

孤独死した人の遺族や関係者に代わり、遺品を整理する遺品整理業者の育成に取り組み。道内に200社以上があるとされるが、特別な資格は必要ない。遺品を遺族に無断で売却するなど、悪質な業者もあり、「作業の技術だけでなく、故人を思いやる心を育てたい」と話す。

本業は千歳市のリサイクル会社役員。遺品整理に関心を持ったのは2年前、小樽市に住む78歳の父親の死がきっかけだった。

母と妹の3人で遺品を整理した。30年以上前に家族で海水浴に出かけた時に撮った白黒写真。父がよく使っていたハンカチ。遺品を片付けながら、一つ一つに詰まった思い出を3人で語り、何度も涙を流した。

その後、偶然知り合った遺品整理業者から、業者の中には遺品を不法投棄したり、売却したりする例があると聞き、「故人の生きた証しを大切にすることを育てたい」と決意。昨年秋季に千歳や札幌などの遺品整理業者5社と協会を設立し、理事長に就任した。

昨年11月からは遺品整理の手順などを学び、試験に合格すると「遺品整理士」の資格を与える通信講座を始めた。応募者は既に道内外から千人を超えるが、孤独死の増加が背景にあり、「人と人のつながりが希薄になってきていることの表れ」と複雑な思いも。

小樽市出身で千歳市在住。出勤前の散歩が楽しみという48歳。

(石田礼)

